



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 072-224-5115
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,379	5.4	975	54.1	881	410.1	355	—
29年3月期第1四半期	20,289	7.7	632	—	172	—	△100	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 338百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △644百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.73	—
29年3月期第1四半期	△1.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	98,530	50,257	51.0	527.55
29年3月期	101,712	50,872	50.0	534.00

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,257百万円 29年3月期 50,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,550	4.4	3,334	23.7	3,100	50.2	1,780	84.0	18.68
通期	92,200	5.0	7,170	7.3	6,700	14.4	3,600	31.6	37.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	95,452,914株	29年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	187,153株	29年3月期	186,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	95,265,939株	29年3月期1Q	95,268,964株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調が続きました。一方で、アジア・ヨーロッパ経済については景気の持ち直しが見られましたが、政策に対する不確実性や英国のEU離脱問題等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。また、米国経済においては、政権交代による影響など懸念があるものの、雇用環境が改善し、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「大人1名に対して小学生1名無料キャンペーン」や「1,000円キャッシュバックイベント」の実施、最新ゲーム機種や最新アイテムの導入を積極的に行う等、来場者の獲得に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高21,379百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益975百万円(同54.1%増)、経常利益881百万円(同410.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益355百万円(前年同四半期は100百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントとしているため、セグメント別の業績を記載いたしておりません。なお、サービス別の業績は次のとおりであります。

①ボウリング

一定条件を満たすことでキャッシュバックを受けられる「1,000円キャッシュバックイベント」の実施、前年度より継続して実施しております「大人1名に対して小学生1名無料キャンペーン」及び、料金変更の効果により、前年同四半期に比べて3.2%の増収となりました。

②アミューズメント

人気機種のアップデートや、クレーンゲームに人気映画のキャラクター・グッズ等を積極的に導入した結果、前年同四半期に比べて6.6%の増収となりました。

③カラオケ

全店のルームモニターを大迫力の映像が楽しめる大型65インチモニターに入れ替えを行っております。また、一定条件を満たすことでキャッシュバックを受けられる「1,000円キャッシュバックイベント」を実施した結果、前年同四半期に比べて0.4%の増収となりました。

④スポッチャ

立ち乗りの電動スクーター「バランススクーター」等の話題性のあるアイテムや、お子様向けの転倒しづらいローラースケート「イージーロール」等の新しいアイテムを積極的に導入した結果、前年同四半期に比べて10.4%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,181百万円減少の98,530百万円となりました。この要因は、現金及び預金が3,123百万円減少、売掛金が357百万円減少したこと等による流動資産の減少3,463百万円と、建設仮勘定が909百万円増加、リース資産が713百万円減少したこと等による固定資産の増加281百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,566百万円減少の48,273百万円となりました。この要因は、1年内返済予定の長期借入金が314百万円減少、リース債務が906百万円減少したこと等による流動負債の減少1,540百万円、長期借入金が1,055百万円減少したこと等による固定負債の減少1,026百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ614百万円減少の50,257百万円となりました。この要因は、剰余金の配当952百万円による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益355百万円の計上により利益剰余金が597百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.0%(前連結会計年度末は50.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間など長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

平成29年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,197	17,073
売掛金	744	386
商品	380	374
貯蔵品	1,218	1,250
その他	2,891	2,883
流動資産合計	25,432	21,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,314	71,484
減価償却累計額	△34,584	△35,230
建物及び構築物(純額)	35,730	36,253
土地	5,736	5,736
リース資産	29,075	28,580
減価償却累計額	△13,872	△14,091
リース資産(純額)	15,202	14,488
その他	18,313	19,323
減価償却累計額	△13,966	△14,221
その他(純額)	4,346	5,101
有形固定資産合計	61,016	61,580
無形固定資産		
投資その他の資産	179	196
繰延税金資産	4,723	4,647
差入保証金	10,063	9,871
その他	296	264
投資その他の資産合計	15,082	14,783
固定資産合計	76,279	76,560
資産合計	101,712	98,530

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	676	434
短期借入金	678	1,497
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	4,748	4,434
リース債務	9,327	8,420
未払法人税等	640	218
その他	5,492	5,017
流動負債合計	21,732	20,192
固定負債		
社債	935	935
長期借入金	9,909	8,854
役員退職慰労引当金	299	257
リース債務	8,646	8,681
資産除去債務	6,257	6,259
その他	3,058	3,091
固定負債合計	29,106	28,080
負債合計	50,839	48,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	3,007	2,410
自己株式	△330	△331
株主資本合計	50,336	49,738
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	674	657
その他の包括利益累計額合計	535	518
純資産合計	50,872	50,257
負債純資産合計	101,712	98,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	20,289	21,379
売上原価	19,145	19,848
売上総利益	1,144	1,531
販売費及び一般管理費	512	556
営業利益	632	975
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	4
販売協力金収入	23	21
その他	30	37
営業外収益合計	58	63
営業外費用		
支払利息	149	143
その他	369	13
営業外費用合計	518	157
経常利益	172	881
特別利益		
固定資産売却益	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
減損損失	118	—
災害による損失	68	—
固定資産除却損	25	64
店舗閉鎖損失	48	—
特別損失合計	260	64
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△71	817
法人税、住民税及び事業税	58	82
法人税等調整額	△28	379
法人税等合計	29	461
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100	355
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△100	355

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100	355
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△543	△17
その他の包括利益合計	△543	△17
四半期包括利益	△644	338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△644	338
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。